

肝腎同時移植について

1. 現状

肝移植を必要とする肝疾患患者の中には、不可逆的な腎不全の合併症例があり、肝腎同時移植が望まれる。現状では、両臓器の移植を希望して日本臓器移植ネットワークに登録しているも、両者で緊急性の順位に違いがあると、肝腎同時移植を受ける機会は極めて稀となる。

- ・ 肝臓及び腎臓移植希望登録者について(別添)
- ・ 肝臓移植希望者と腎臓移植希望者の待機日数等の比較について

	移植希望者	平均待機日数	移植件数
腎臓移植	12,202 人	2656.7 日	160 件(平成 17 年)
肝臓移植	106 人	579.4 日	4 件(平成 17 年)

出典:(社)日本臓器移植ネットワーク調べ(平成 18 年 1 月 31 日現在)

2. 肝臓移植に関する作業班・腎臓移植に関する作業班合同会議

(平成 18 年 3 月 1 日)の検討結果

合同会議において、以下の取扱いとすることとされた。

- (1) 肝臓移植希望者(レシピエント)選択基準で選ばれた肝臓移植希望者(レシピエント)が肝腎同時移植の待機者である場合であって、かつ、臓器提供者(ドナー)から肝臓及び腎臓の提供があった場合には、当該待機者が腎臓移植待機リストで下位であっても、当該待機者に優先的に肝臓及び腎臓を同時に配分する。
- (2) (1)により、肝腎同時移植希望者(レシピエント)が選定されたものの、肝臓が移植に適さないことが判明した場合には、腎臓移植希望者(レシピエント)選択基準で選ばれた腎臓移植希望者(レシピエント)に腎臓を配分する。

(別添)

肝臓および腎臓移植希望登録者について

日本臓器移植ネットワークに肝臓および腎臓の移植希望登録をされた方のうち、

- ① 現在、肝臓・腎臓とも移植を希望し登録している方・・・1名
原疾患 肝臓：二次性胆汁性肝硬変
腎臓：多発性嚢胞腎
- ② 肝臓を移植した後に、現在、腎臓移植を希望し登録している方・・・1名
(生体肝移植済)
原疾患 肝臓：先天性肝・胆道疾患
腎臓：多嚢胞腎
- ③ 腎臓を移植した後に、現在、肝臓移植を希望し登録している方・・・0名

<参考>

これまでに肝臓および腎臓の移植希望登録をされた方・・・5名

転帰の内訳

上記①・・・1名

上記②・・・1名

海外にて肝臓・腎臓移植済・・・1名

生体肝移植後、死亡・・・1名

生体肝移植後、腎臓の移植希望登録を取消・・・1名

平成18年2月27日

社団法人日本臓器移植ネットワーク 医療本部 調べ

(参考)

肝臓移植希望者(レシピエント)選択基準の見直し(案)

(下線が変更部分)

1 適合条件

(1) ABO 式血液型

ABO 式血液型の一致(identical)だけでなく、適合(compatible)の待機者も候補者として考慮する。

(2) 前感作抗体

当面、選択基準にしないが、必ず検査し、登録する。

(3) HLA 型

当面、選択基準にしないが、必ず検査し、登録する。

(4) 搬送時間(虚血許容時間)

臓器提供者(ドナー)の肝臓を摘出してから 12 時間以内に血流再開できること。

2 優先順位

(1) 医学的緊急性

予測余命が1か月以内	9点
予測余命が1か月～6か月以内	6点
予測余命が6か月～1年以内	3点
予測余命が1年を超えるもの	1点

ただし、先天性肝・胆道疾患及び先天性代謝異常症については、肝臓移植が治療的意義を持つ時期及び患者の日常生活に障害が発生している状態を考慮の上、上表に規定する点数のいずれかを用いることがある。

(2) ABO 式血液型

ABO式血液型が一致	1.5点
ABO式血液型が適合	1.0点

3 具体的選択法

- (1) 移植希望者(レシピエント)の選択順位については、2 の(1)、(2)の合計点数が高い順とする。ただし、これらの条件が同一の移植希望者(レシピエント)が複数存在した場合は、待機期間の長い者を優先する。

- (2) (1)で選ばれた移植希望者(レシピエント)が肝腎同時移植の待機者である場合であって、かつ、臓器提供者(ドナー)から肝臓及び腎臓の提供があった場合には、当該待機者が腎臓移植待機リストで下位であっても、当該待機者に優先的に肝臓及び腎臓を同時に配分する。
- (3) (2)により、肝腎同時移植希望者(レシピエント)が選定されたものの、肝臓が移植に適さないことが判明した場合には、腎臓移植希望者(レシピエント)選択基準で選ばれた腎臓移植希望者(レシピエント)に腎臓を配分する。

4 その他

ABO 式血液型の取扱いや優先順位の点数付け等、当基準全般については、今後の移植医療の定着及び移植実績の評価を踏まえ、最低毎年1回は見直すこととする。

また、将来ネットワークが整備され、組織的にも機能的にも十分機能した場合は、改めてブロックを考慮した優先順位を検討することが必要である。